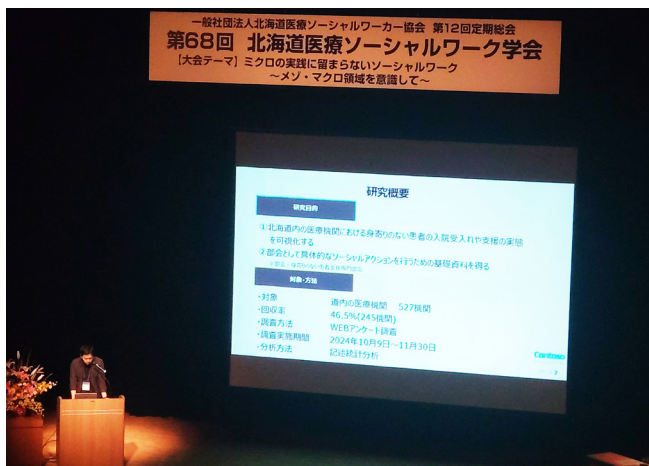


報告

～地域医療連携室だより～



2025年6月14日、札幌サンプラザにおいて第68回北海道医療ソーシャルワーク学会が開催されました。コロナの影響から札幌での開催は実に8年ぶりとなりました。道内からおよそ300名を超える医療ソーシャルワーカーが参加し多くの学びを得る機会となりました。そのような中で当院の地域医療連携室・室長橋本が演題を發表しましたのでご報告致します。



分析対象の特徴

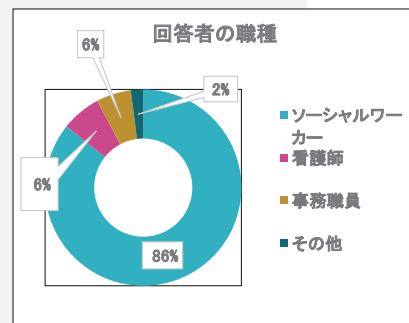
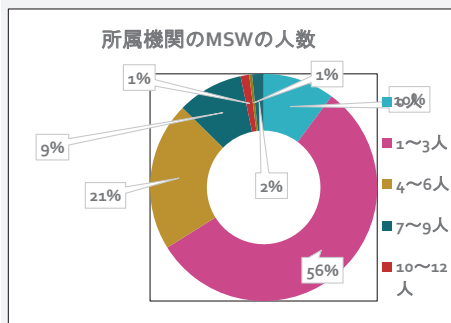
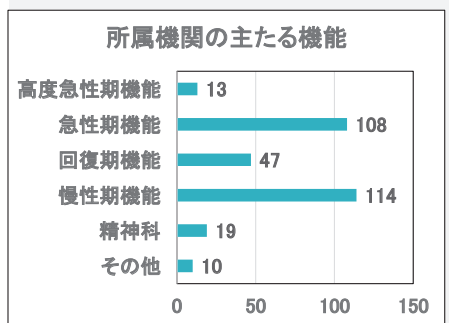
- 急性期機能と慢性期機能を有する機関が約5割を占める
- 医療ソーシャルワーカーの人数は「1～3人」が約6割
- 回答者の職種は「ソーシャルワーカー」が約9割

全道の医療機関(527)の約5割の機関から回答を得ることができました。本調査では約9割の機関が入院時に身元保証を求めている実態が明らかとなり、その半数の機関は条件付きや受入れについて検討を要することが分かりました。

我々、医療ソーシャルワーカーとしては、身寄りがないという理由だけで必要な医療やケアを受けられない実態があることを問題視しています。身寄りがあるなしに関わらず必要な医療やケアを受けられる権利を守る為には医療機関だけではなく、行政や社会保障制度の改革を含め地域全体で仕組みを構築していく必要があります。

今後も身寄りがなくても当然のように医療やケアを受けられる社会となることを目指し、活動を展開していきます。

橋本



編集後記

猛暑の夏が終わり、少しずつ涼しい秋の季節となりました。秋は「食欲の秋」「スポーツの秋」など〇〇な秋と言われることが多いですが皆様は何を思い浮かべますか。清田区は2/3が丘や山となっており自然豊かな区となります。紅葉を見られる公園も多くあり、おいしい物を食べた後には散歩に出かけ秋を感じてみてはいかがでしょうか。

さて、今回のほかほか通信はいかがだったでしょうか。きよっちバスがパワーアップし停留所が増えたことで地域の皆様に利用し易くなったと思います。ぜひ清田区内の病院受診の際はご利用ください。次回は春ごろの発行を予定しています。寒さを乗り越えた新年度にお会いしましょう。

医療法人 尚仁会
真栄病院

リハビリテーション科
内科

TEL.011-883-1122
FAX.011-883-0111